

## 令和元年度 第6回卒業式 式辞

豊後水道を望む東方の四浦の稜線には、日豊地域の早春を告げる河津桜が、津久見高校の学び舎を巣立つ卒業生を見送るように、名残りの花を残し、西方の鎮南山山麓を彩る山桜が、新たな未来に臨む卒業生の期待を示すように大きく蕾みを膨らませる 向春の佳き日、

ここに令和元年度大分県立津久見高等学校 第六回卒業式を挙行できますことを深く感謝申し上げます。また、本会場の皆様とともに喜びたいと思います。

只今、卒業証書をお渡しした162名の卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます。本日の喜びとともに、この3年間みなさんのことを支えてくださったご家族と温かいご支援をいただいた地域の方々、苦楽を共に分かち合った友がいたことを思い出してください。人は、「努力」の数だけ強い心をつくり、「思いやり」の数だけ友をつくり、「感謝」の数だけ人生の味方をつくります。旅立ちの節目にあたり、この3年間を振り返り、強くなった心とかけがえのない友の存在を自覚し、お世話になった方々に感謝の気持ちを伝えていただきたいと思います。特に、これから社会の荒波の中で生き抜かなければならない卒業生の皆さんに覚えていて欲しい事は「感謝の心は人生を豊かにする」ということです。人に感謝するということは、先に述べたように助けてくれる人を増やすと共に、自分の心を寛容にし、安らぎをもたらします。このように自分の内と外から人生を豊かにするものですから、心に強く留めてください。

さて、みなさんは3年前の平成29年4月、私の着任と時を同じくして入学しました。入学式で入学を許可した生徒が、こうして大きく成長した姿を目の当たりにし、卒業証書を授与することができるのは、校長として無上の喜びであります。

みなさんは、入学してから津久見高校生として3年間、駅で困っていた方を救ったことをはじめ、台風18号で被災した本校校舎の普及に全力で取り組み。また、西日本豪雨で被災した愛媛県の三間高校や、胆振東部地震により被災した北海道の方々に義援金を贈るなど多くのボランティア活動に取り組みました。まさに「至誠」「まごころ」を見せてくれました。そして、津高祭の「文化の部・体育の部」や研究成果発表会などの諸行事を盛り上げ、後輩達とともに「感動」を呼び起こしてくれたことは記憶に新しいところです。また、私が着任とともに創設した資格取得認定制度「津久見シュラン」の三ツ星認定を目標に努力を重ね、本年度は、66名の卒業生が星三つ以上と認定されました。その中でも、星三つを取得した普通科の生徒が自分の将来の職業を意識し、更に主体的に取り組み、星四つの資格に合格した時の自信に満ちた笑顔は、私の脳裏に強く残っています。まさに、進んで物事に取り組む「進取」の姿を見せてくれました。このように、卒業生のみなさんは、校訓である「至誠 感動 進取」をこの3年間、実践してくれました。みなさんは、本校で学び成長した自分に誇りを持ち、習得した知識・技能に自信を持って、次のステージで活躍してください。

ここで、門出を迎える、みなさんに驢の言葉を贈ります。それは「人としての学びは生涯続く、その続く道は幸福への道と共にある」という言葉です。これは、私が60年間多くの

方々を見て強く思うことです。ここで高校生としての学びは修了しますが、まだまだ学生としての学び、職業人としての学び、社会人としての学び、人としての学びなど、様々な学びがこれからもずっと続いていきます。その学びを続けることが自らの幸福を創造、創り上げていくことに繋がります。「人としての学びは生涯続く、その続く道は幸福への道と共にある」という言葉を念頭に置き、これからも学びを続けていってください。そして、「目標」と書く夢を綴り、自らの力量を高め、人を大切に、人からの信頼を得て地域を支える人材となってください。

この県南地域は、歴史と伝統を色濃く残し、鉱工業をはじめとして、自然の恩恵を受ける産業を基盤とした地域であります。地域の方々は、地域の特色を知り、新たな知識・技術を習得した皆さんの活躍を待っています。みなさんが社会人として成長し地域経済の担い手となれば、地域が発展し、ひいては自分の生活が豊かになります。地域の財産を生かし、主体的に考え行動し、新しい価値を生み出すことができる人となることを期待しています。

次に、保護者の皆様方に一言お喜びを申し上げます。お子様のご卒業 誠におめでとうございます。また、これまで本校に対していただいた、ご支援に心より感謝申し上げます。保護者の方々から信頼をいただいたことにより、本日このように心身ともに素晴らしく成長した卒業生の姿をお見せすることができます。このことは、教職員はもちろんのこと、地域にとっても大きな喜びでもあります。卒業生は、その力を自らのため、また地域のために十分に発揮してくれるものと信じております。

結びに、本日ご参列の保護者の皆様、そして卒業生のみなさんの益々のご多幸と、ご健勝をご祈念申し上げ、式辞といたします。

令和2年3月2日  
大分県立津久見高等学校  
校長 渡邊芳和